

保護者様

川崎市立川中島小学校

校長 堀江 広志

川中島コミュニティ学校運営協議会会長 清水 仁子

## 学校評価アンケート結果について

寒さ厳しい中にも、光に輝きを感じる季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝いたします。さて、今年度学校評価アンケートを7月と1月の2回実施させていただきました。今後も、アンケートの結果を真摯に受け止め、川中島コミュニティ学校運営協議会一同、益々の努力・改善を重ね「子どもが主役」の学校づくりに励んでまいります。今後ともご支援とご協力の程よろしく願います。

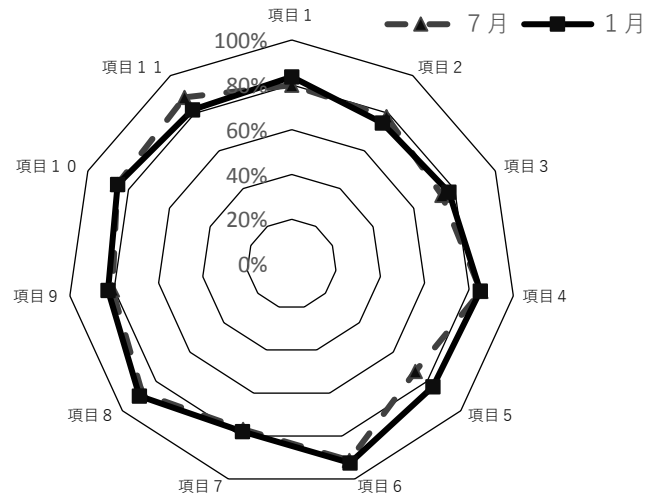
%は、⑤「とてもよい」・④「よい」の合計の値です。

( ) 内数字 (7月アンケート数値→1月アンケート数値)

### 児童アンケート

- 項目1 勉強や係・委員会等で、自分の力をいっぱい出せていますか。(80%→84%)
- 項目2 学校で困ったことや心配なことはありますか。※ない・あまりない(78%→75%)
- 項目3 読み聞かせやお話会などを見聞きして、読書が好きになりましたか。(74%→77%)
- 項目4 地域や学校で気持ちの良いあいさつができますか。(85%→85%)
- 項目5 集会やなかよし班で他学年の友達と仲良くできますか。(73%→84%)
- 項目6 学校でも交通安全の学習をしていますが、歩いているときや自転車に乗っているとき交通ルールを守っていますか。(91%→93%)
- 項目7 川中島小学校では先生のほかに地域の人が学習サポートをしていることについて知っていますか。(77%→78%)
- 項目8 学校をきれいにするために進んで取り組んでいますか。(88%→90%)
- 項目9 クラスみんなで考える学習やグループでの学習など、いろいろな学習方法がありますが、勉強は楽しいですか。(81%→83%)
- 項目10 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(86%→85%)
- 項目11 図工の時間に絵をかいいたりものをつくったりすることは好きですか。(89%→82%)

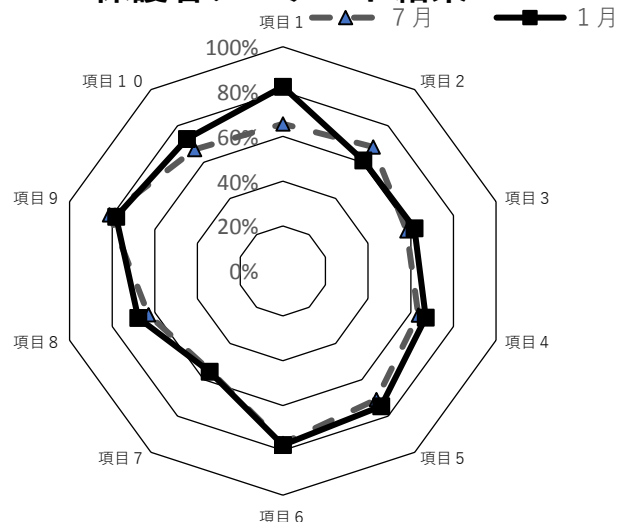
### 児童アンケート結果



### 保護者アンケート

- 項目1 お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(66%→82%)
- 項目2 お子さんは、学校で困ったことや心配なことがありますか。  
※ない・あまりない (68%→61%)
- 項目3 お子さんは、学校の読み聞かせやお話会、読書の時間などの活動を通して読書が好きになりましたか。(58%→62%)
- 項目4 お子さんは家庭や地域、学校でしっかり挨拶ができていると思いますか。(64%→67%)
- 項目5 お子さんは、他学年の児童とも仲良く交流できていると思いますか。(71%→75%)
- 項目6 学校では交通安全の学習をしていますが、お子さんは、道路を歩いているときや自転車に乗っているときに交通ルールを守っていますか。(77%→78%)
- 項目7 川中島小学校はコミュニティスクールです。どんな活動をしているか知っていますか。  
(55%→55%)
- 項目8 お子さんは、学校をきれいにするために活動していると思いますか。(63%→68%)
- 項目9 学校では、少人数での学習や外部講師の活用、放課後支援などを行っていますが、お子さんの学力向上のために効果的であると思いますか。(81%→78%)
- 項目10 お子さんが図工の学習の時間につくった作品をおうちで飾っていますか。(67%→73%)

### 保護者アンケート結果



## 項目1 子どもの自己肯定感を高める

7月→1月

(児童アンケート) 勉強や係・委員会等で、自分の力をいっぱい出せていますか。(80%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(66%→82%)

**自己評価** 児童・保護者ともに良い評価が8割をしめ、学校生活の中で自分の力を発揮し、自信をもって生活を送っていることがわかります。家庭でもそうした子どもたちが認められていることが伝わります。今年度はコロナ禍の中、いつも通りに行えない活動や行事もありましたが、その中でも子ども一人ひとりが活躍の場を見つけ成長できたことをうれしく思います。これからも子どもたちが自分のよさや力を十分発揮できるよう支援していきます。ともにあたたかく見守って下さる保護者の皆様に感謝をしています。

**学校関係者評価** 学校休校や自粛要請により、学校生活が制限された活動になってしまいました。その中でも、子どもたちは、自分たちでできることを精一杯行おうとしたことがアンケートの結果からわかります。落ち着いた学校生活が送れたのは、学校教職員の温かい支援や保護者の見守りのおかげだと思います。

## 項目2 特別支援の推進(子ども一人ひとりへの配慮)

(児童アンケート) 学校で困ったことや心配なことはありますか。※ない・あまりない(78%→75%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校で困ったことや心配なことがありますか。※ない・あまりない(68%→61%)

**自己評価** コロナ禍での新しい生活様式の中、友達とかかわりや学習の進め方などが変わり、不安なことのある児童、保護者の方が見られます。学校では一人ひとりの不安や悩みに対して、担任をはじめ、学年の先生、児童支援コーディネーター、養護教諭、校長、教頭、教務主任などいつでも誰にでも相談しやすい環境を作っています。そして連絡を取り合い、外部機関ともつながりながらチームで対応をしています。これからも学校、保護者との連携を大切に子どもたちを支援していただきたいと思ひます。

**学校関係者評価** コロナ禍による自粛・制限は子どもたちにとって大きな負担です。それでもアンケートの結果は昨年度までと同じような数値でした。

子どもたちの不安や悩みに対して、学校教職員が組織的・計画的に取り組んだ成果だと思います。

## 項目3 図書活動の推進

(児童アンケート) 読み聞かせやお話し会を見聞きして、読書が好きになりましたか。(74%→77%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校の読み聞かせやお話し会、読書の時間などの活動を通して読書が好きになりましたか。(58%→62%)

**自己評価** 児童のアンケートからは、読書が好きの子が多いということが読み取れます。理由としては、定期的な読み聞かせを行って頂いたり、図書室に入りやすい装飾やイベントをしたりしていただけることで、本を身近に感じる事ができているからだと思ひます。保護者の方にもそういった周知が進むことで、評価もより伸ばしていけるのではないかとと思ひます。引き続き、朝の読書等を活用し、読書の推進に取り組みます。

**学校関係者評価** 読書が好きの子は何も働きかけをしなくても読みますが、苦手意識のある子は読書の時間をもてあましてしまいます。好きじゃない子にも目を向けて、本の紹介などの時間を作って最初の一步の手助けをし、読書の楽しさを少しでも知ってもらいたいです。保護者の方にもボランティアの募集や図書日よりなどで読書活動を周知する必要も感じます。

## 項目4 進んで挨拶する子どもたち

(児童アンケート) 地域や学校で気持ちの良いあいさつができますか。(85%→85%)

(保護者アンケート) お子さんは、家庭や地域、学校でしっかり挨拶ができていると思ひますか。(64%→67%)

**自己評価** 児童のおよそ8割は、気持ちのよいあいさつをしています。ただ、保護者アンケートでは、昨年に引き続き、しっかりあいさつができていると回答された方が、児童アンケートの結果よりも下回っています。児童アンケートには、あいさつがはずかしいとの記述も見られましたが、あいさつをすると相手笑顔になる、とのコメントもありました。本年度は、「マスクをしていても聞こえる、笑顔の見えるあいさつ」を目標に、全校であいさつ運動として「ニコおは隊」を行ってきました。今後も、学校の内外でも、進んであいさつができるような取り組みを継続していきたいと思ひます。

**学校関係者評価** 今年も児童の「ニコおは隊」の活動を継続し、児童のアンケート結果(85%)にあらわれている通り、あいさつが定着していると思ひます。しかし、保護者のアンケート結果は68%となっています。家庭での保護者からの「おはよう」のあいさつの更なる協力をお願いしたいです。

## 項目5 異学年交流・なかよし班活動

(児童アンケート) 集会やなかよし班で他学年の友達と仲良くできますか。(73%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは、他学年の児童とも仲良く交流できていると思いますか。(71%→75%)

**自己評価** なかよし班活動では、全学年をそれぞれ組み合わせた小さなグループ単位で活動を行っています。なかよし班が同じというきっかけから仲良くなり、交友関係が広がっているように感じます。今年度においては、前期についてはほとんど活動ができなかったのですが、後期は活動が増えかわりも増えたので「仲良くできた」と感じる児童や保護者の方が多かったのだと思います。かわりの中で、高学年は低学年の見本として、低学年は高学年の活動の仕方を見て、お互いが新たな学びを得ているようにも感じられます。グループ内での子どもたち同士のかかわりがさらにによりよいものになるよう、今後も活動していけたらと思います。

**学校関係者評価** 子ども同士が異学年と関わることで、「助け合う心」や「思いやる心」を身につけてきたようです。なかよし班の中で学年に応じた役割分担をすることは、自分の居場所を感じて自信と達成感につながると思います。今年度は子どもたちの接触や密になることを避けての難しい活動になったのではないのでしょうか。それでも高い評価を得られ、先生方の指導や配慮に感謝したいと思います。

## 項目6 事件・事故に対応する活動

(児童アンケート) 学校でも交通安全の学習をしていますが、歩いている時自転車に乗っている時、交通ルールを守っていますか。(91%→93%)

(保護者アンケート) 学校では交通安全の学習をしていますが、お子さんは、道路を歩いている時や自転車に乗っている時に交通ルールを守っていますか。(77%→78%)

**自己評価** 日頃の学級指導や長期休業前の全児童に向けての指導を通して子ども達が安全に生活できるような取り組みを行っています。伊勢川中島歩道橋を渡る児童が増えたため歩道橋の見守り活動のボランティアを募集して配置し、事故防止を進めています。日頃の生活においても実践できるように継続して指導しています。

**学校関係者評価** 登下校時に、地域交通安全員さんや近隣町内会の方々が歩道橋など通学路にたったり見回りをしたりして、子どもたちを見守って下さっています。時折、自転車でのとび出しや気になる乗り方なども見受けられますので、常に地域の目があることを意識して、放課後や休日なども安全に過ごしてほしいと思います。

## 項目7 コミュニティスクール

(児童アンケート) 先生のほかに地域の人が学習サポートをしていることについて知っていますか。(77%→78%)

(保護者アンケート) 川中島小学校はコミュニティスクールです。どんな活動をしているか知っていますか。(55%→55%)

**自己評価** 低学年のニコニコ学習タイム(放課後学習支援)を行っています。今年度も、2年生の九九検定を行い学びが継続するようにしています。また、高学年のミシンボランティアとして子どもに寄り添いながら活動を続けています。校内でのコミュニケーションが基盤となり、町の中で地域の方と出会った際には積極的に挨拶を交わすことができます。コミュニティスクールの活動の様子や取り組みについては、引き続きホームページなどで発信していますので、ご理解とご協力をいただけたらと思います。

**学校関係者評価** コミュニティスクールに指定されて14年目。「学校だより」「コミュニティだより」などで活動をお知らせしています。今年度はコロナのため協力できなかった活動もありますが、恒例となった活動を充実させると共に、子どもたちを支援する新しい取り組みも考えています。

## 項目8 環境の整備

(児童アンケート) 学校をきれいにするために進んで取り組んでいますか。(88%→90%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校をきれいにするために活動をしていると思いますか。(63%→68%)

**自己評価** 今年度はコロナ禍で、6月の清掃方法が大きく変わりました。自分の机の回りを自分できれいにすることをしばらく続け、後半は徐々に以前の清掃方法で取り組みました。1月は7月に比べ、保護者や児童の結果がよくなりました。特に児童は、学校をきれいにするために進んで取り組んでいると感じているようです。学校での姿を家庭にも伝え、清掃時間だけでなく、普段から自分の身の回りの環境を整えることを意識させていきたいと思えます。

**学校関係者評価** コロナ禍で清掃方法が変わる中、状況に応じて学校をきれいにするための活動に子どもたちがしっかり取り組んでいた事が数値から分かります。今年度はピカピカタイムの中止で保護者の方と一緒に活動がなく、清掃の様子を伝えるのは特に難しかったと思えます。

## 項目9 きめ細やかな学習 学習形態の工夫

(児童アンケート) クラスみんなで考える学習やグループでの学習などいろいろな学習方法がありますが、勉強は楽しいですか。(81%→83%)

(保護者アンケート) 学校では、少人数での学習や外部講師の活用、放課後支援などを行っています。お子さんの学力向上のために効果的であると思えますか。(81%→78%)

**自己評価** 今年度も各学年が学習形態を工夫した授業をしてきました。クラス全体で交流活動をしたり、2人組やグループで話し合ったりするなど、主体的に学習課題を解決する形態を取り入れてきました。また、放課後学習支援や算数の少人数学習に関して、児童と保護者ともに楽しく学習に取り組むことができているとの意見がありました。一定の成果があったように感じられます。今後も、学習形態の工夫を継続し、きめ細やかな学習ができるよう、心がけていきます。

**学校関係者評価** 児童・保護者とも80%前後と高い評価なので、保護者の皆さんにも学習形態の工夫が学力向上につながっていると評価されているのだと思えます。しかし、楽しさを感じられていない児童もいます。勉強の楽しさとは何か、これからのいろいろな工夫が必要だと思えます。

## 項目10 学力向上の取り組み

(児童アンケート) 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(86%→85%)

**自己評価** 85%の児童が、学習の中で「できた」「わかった」という達成感を得ていることがわかります。いろいろな学習の場面で、きめ細やかな学習や学習形態の工夫を意識して行っていることが成果に表れています。児童が「できた」と感じ、学習内容への理解を少しでも深められるような授業をしていきたいと思えます。今後も、確かな学力の向上につながるよう努力していきます。

**学校関係者評価** 「できた」「わかった」と思ったとき、児童はすごくすきな笑顔になります。多くの児童が達成感を得られている中「わからない」と思っている児童もいます。この児童にもすきな笑顔になってもらえるように努力していかなくてはいけないと思えます。

## 項目11 図画工作科への取り組み

(児童アンケート) 図工の時間に絵をかいたり、ものをつくったりすることは好きですか。(89%→82%)

(保護者アンケート) お子さんが図工の学習の時間につくった作品をおうちで飾っていますか。(67%→73%)

**自己評価** 今年度も校内研究として図画工作科について研究してきました。子ども達が図工で豊かに発想を広げ、絵をかいたりつくったりすることに喜びながら、工夫してつくり上げることを目指してきました。完成した自分の作品を見て、満足そうに家に持ち帰る姿も多く見られました。図工を通して学んだ形や色の面白さやよさを、生活や他の学習にも生かせる指導を今後も続けていきます。

**学校関係者評価** 多くの子どもたちが図工を楽しんでいることがアンケート結果に表れています。「楽しい」と回答している子の比率の高さもそうですが、特に7月と比べて1月の結果では「楽しくない」という回答の割合が減っている点が素晴らしいと思えます。先生方の取り組みに感謝です。作品を飾る家庭もこの半年で増えていますし、昨年度の7月と比べると9%も増えています。今後も学校と家庭の双方で、子どもたちの感動と意欲を支えていっていただきたいと思います。